

環境影響評価現地調査の状況について

1. 調査スケジュール

項目	時期	平成29年										平成30年					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
① 大気汚染(気象+大気質)		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
② 水質汚濁				■					■								
③ 土壌汚染											■						
④ 騒音・低周波音、⑤振動										■	■						
⑥ 地盤沈下、⑦ 水象(地下水)		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
⑧ 悪臭				■		■											
⑨ 電波障害																■	■
⑩ 植物		■				■			■								
⑪ 動物、⑫ 水生生物		■		■		■			■				■	■			
⑬ 生態系									■				■	■			
⑭ 景観						■						■	■				
⑮ レクリエーション資源										■							
⑯ 安全(交通)						■											

実施済

現地調査実施状況

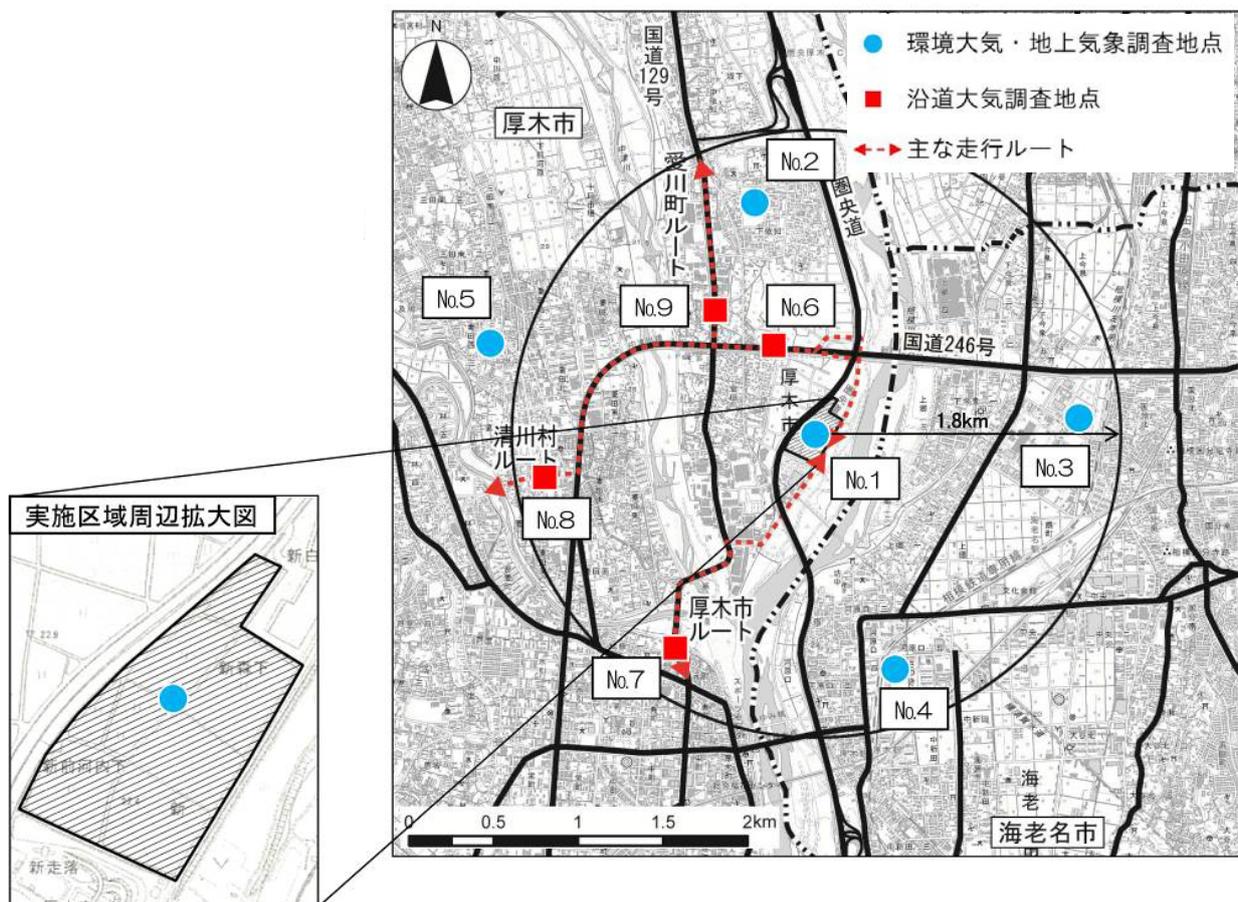


2. 大気質・気象調査

(1) 調査概要

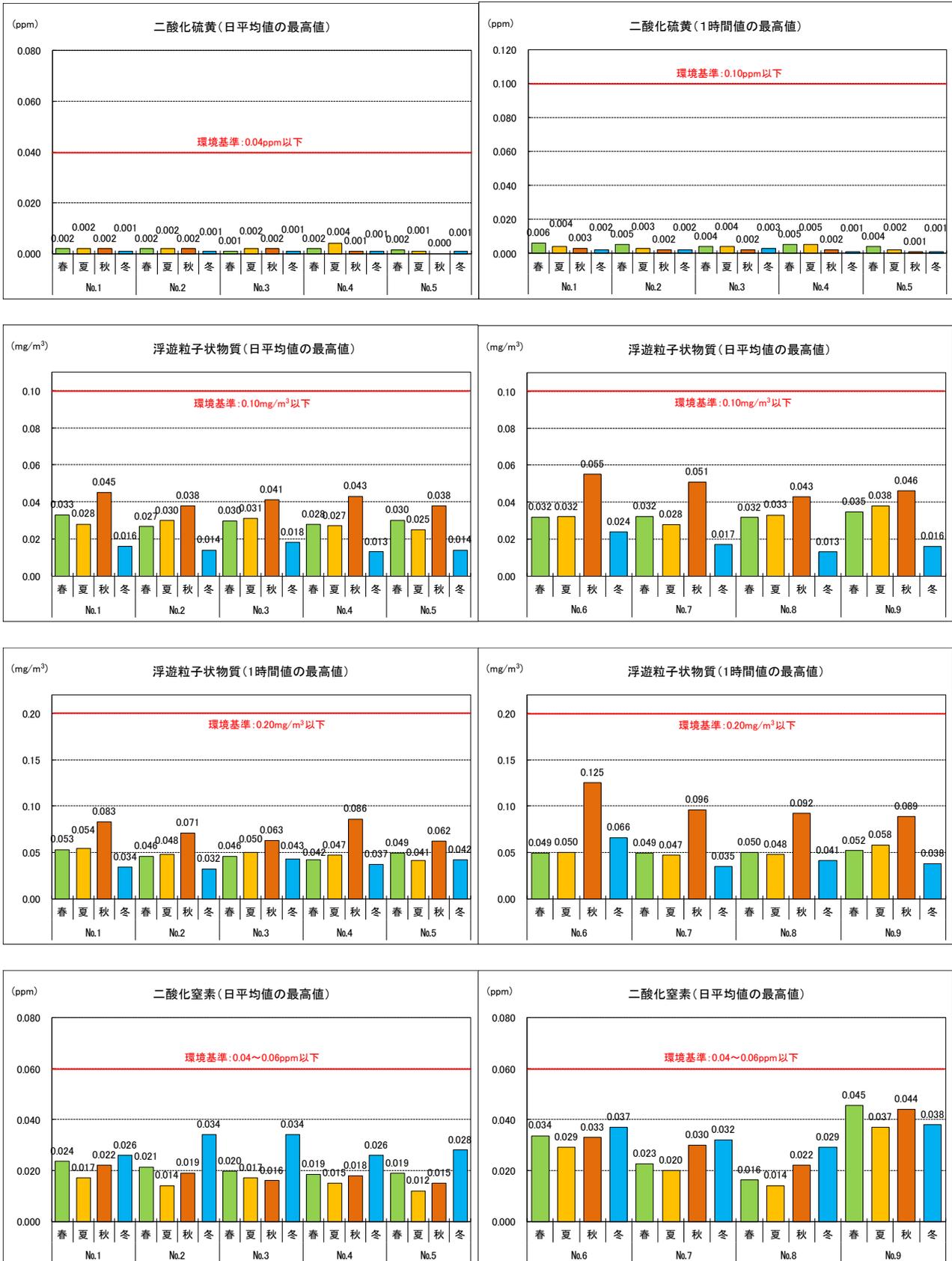
項目		調査期間
環境大気	二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、 窒素酸化物(一酸化窒素、二酸化窒素)、 ダイオキシン類、微小粒子状物質、塩化水素、 降下ばいじん、重金属類(水銀、鉛、カドミウム)、 地上気象	【春季】 平成 29 年 4 月 19～25 日 ※降下ばいじん 平成 29 年 4 月 1 日～5 月 1 日 【夏季】 平成 29 年 8 月 17～23 日 ※降下ばいじん 平成 29 年 7 月 24 日～8 月 23 日 【秋季】 平成 29 年 10 月 12～18 日 ※降下ばいじん 平成 29 年 10 月 10 日～11 月 9 日 【冬季】 平成 29 年 12 月 13～19 日 ※降下ばいじん 平成 29 年 12 月 10 日～ 平成 30 年 1 月 9 日 ※実施区域の地上気象は 1 年間
沿道大気	浮遊粒子状物質、 窒素酸化物(一酸化窒素、二酸化窒素)	

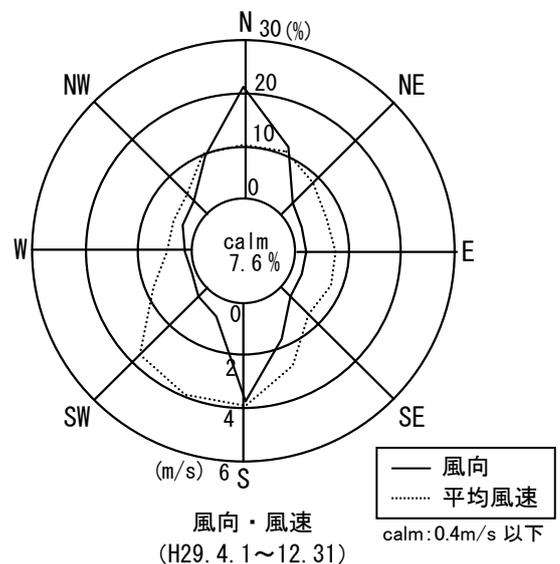
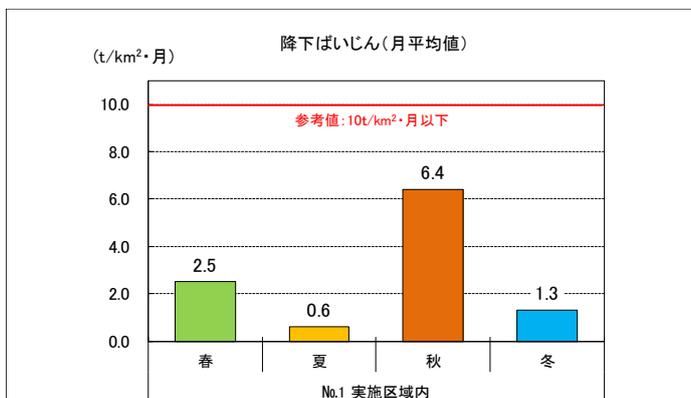
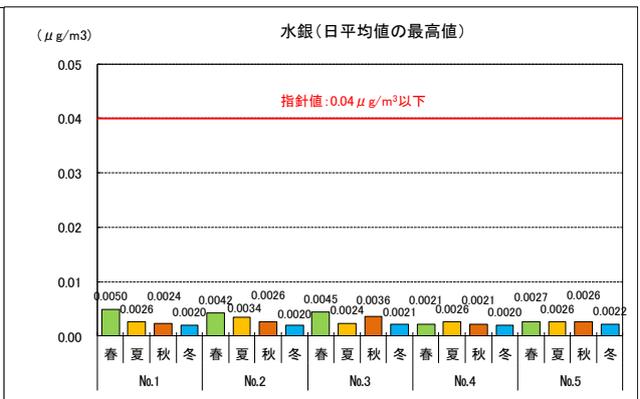
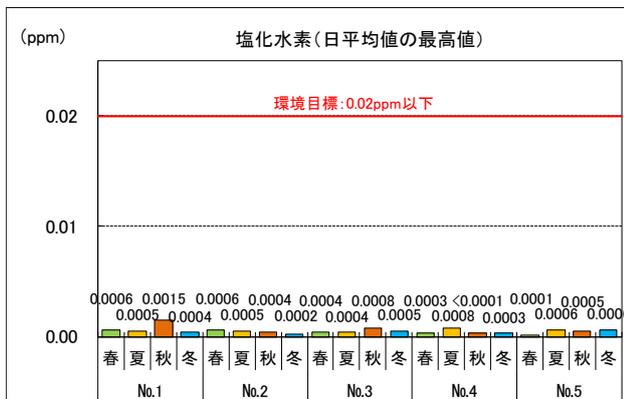
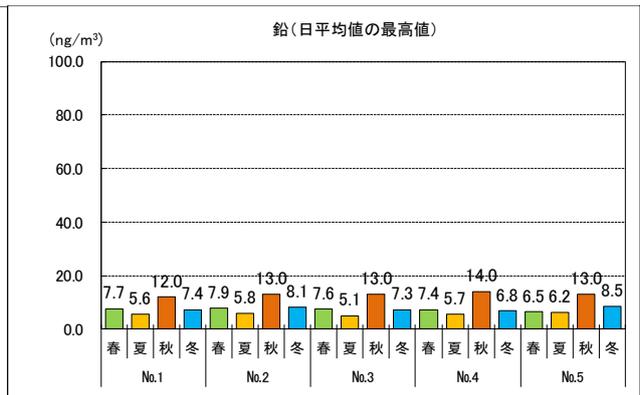
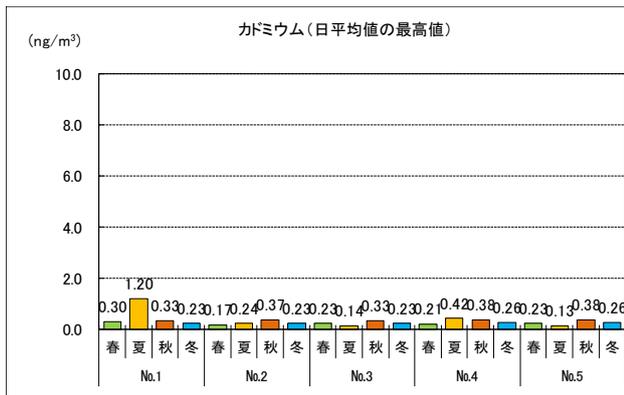
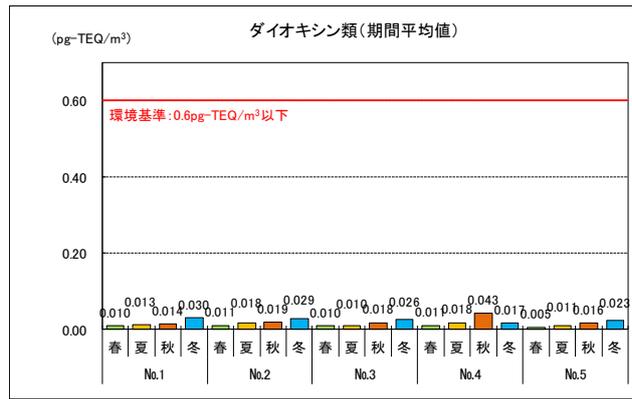
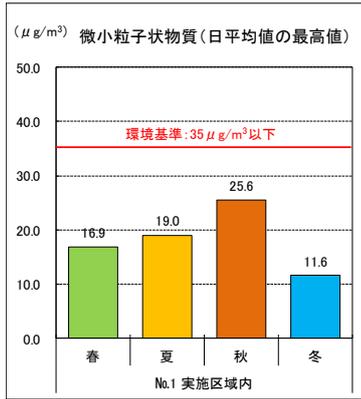
(2) 調査地点



(3) 調査結果

- ・大気質は全ての項目で環境基準等を満足していた。
- ・実施区域の地上気象は、北と南の風向が卓越していた。





3. 水質汚濁調査

(1) 調査概要

項目	調査期間
浮遊物質 (SS)、水素イオン濃度 (pH)、流量	【降雨時】 平成 29 年 6 月 21 日 12 時～17 時 (6 回採水) 平成 29 年 10 月 19 日 12 時～17 時 (6 回採水)

(2) 調査地点



(3) 調査結果

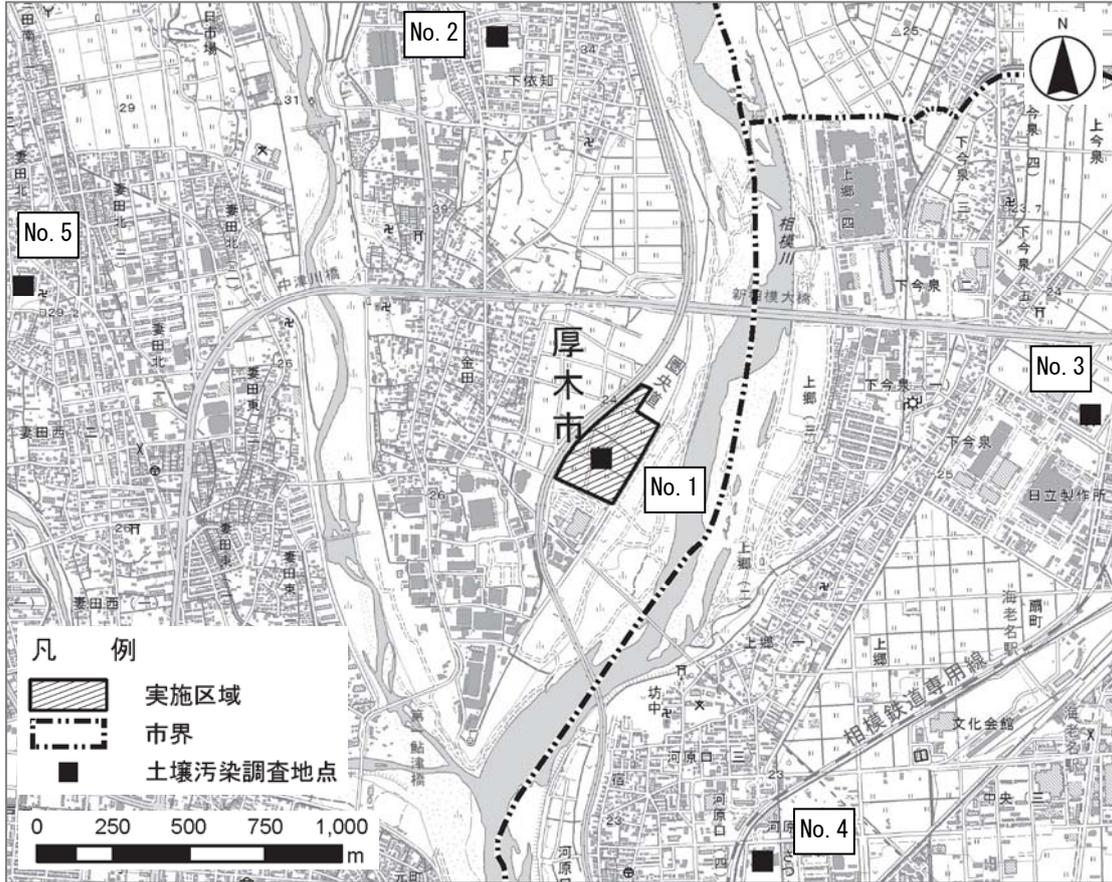
回数	SS (mg/L)		pH		流量 (m ³ /s)	
	6/21	10/19	6/21	10/19	6/21	10/19
1 回目	84	8	7.7	7.8	2.232	0.258
2 回目	42	10	7.9	7.7	2.249	0.251
3 回目	46	13	7.6	7.9	2.058	0.491
4 回目	110	19	8.5	7.5	4.627	0.570
5 回目	84	10	7.6	7.6	1.582	0.289
6 回目	50	6	7.7	7.6	1.045	0.223

4. 土壤汚染調査

(1) 調査日

平成 29 年 12 月 13 日

(2) 調査地点



5 地点混合法により試料採取



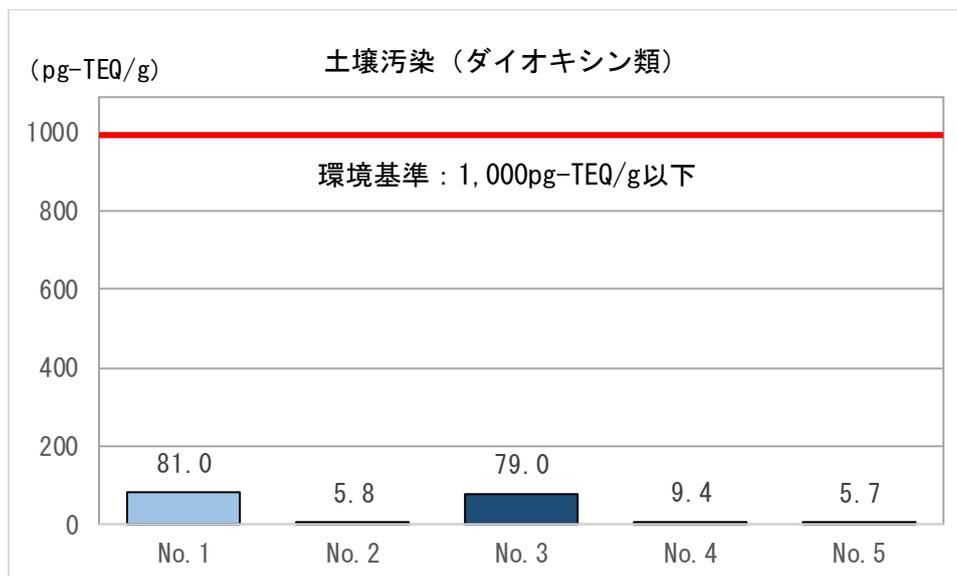
試料採取状況

(3) 調査結果

- ・全ての項目で環境基準を満足していた。

環境基準項目 (No. 1 実施区域)

項目	単位	測定結果	環境基準
カドミウム	mg/L	<0.001	0.01
全シアン	mg/L	不検出	検出されないこと
有機燐	mg/L	不検出	検出されないこと
鉛	mg/L	<0.005	0.01
六価クロム	mg/L	<0.02	0.05
砒素	mg/L	<0.005	0.01
総水銀	mg/L	<0.0005	0.0005
アルキル水銀	mg/L	不検出	検出されないこと
P C B	mg/L	不検出	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/L	<0.001	0.02
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	0.002
クロロエチレン	mg/L	<0.0002	0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.001	0.1
ジス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.001	0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.001	1
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	0.006
トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	0.03
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.001	0.01
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	0.002
チウラム	mg/L	<0.0006	0.006
シマジン	mg/L	<0.0003	0.003
チオベンカルブ	mg/L	<0.001	0.02
ベンゼン	mg/L	<0.001	0.01
セレン	mg/L	<0.002	0.01
ふっ素	mg/L	0.11	0.8
ほう素	mg/L	<0.1	1
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	0.05
砒素 (含有試験)	mg/kg	<0.05	15
銅 (含有試験)	mg/kg	3.3	125

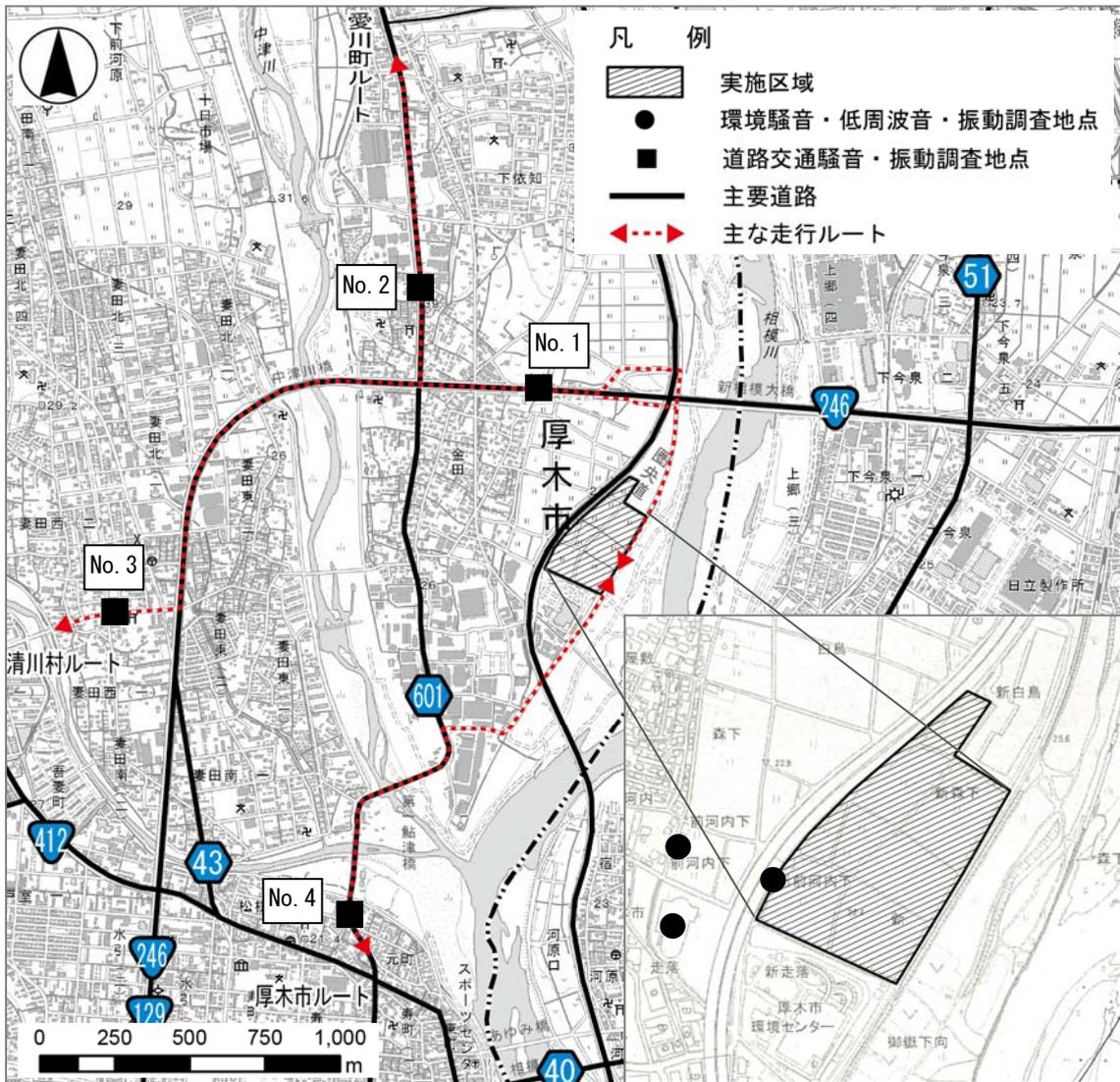


5. 騒音・振動・低周波音調査

(1) 調査日

項目	調査期間
環境騒音・振動・低周波音	平成 29 年 11 月 14 日 9:00～15 日 9:00
道路交通騒音・振動、交通量	平成 29 年 11 月 14 日 6:00～22:00

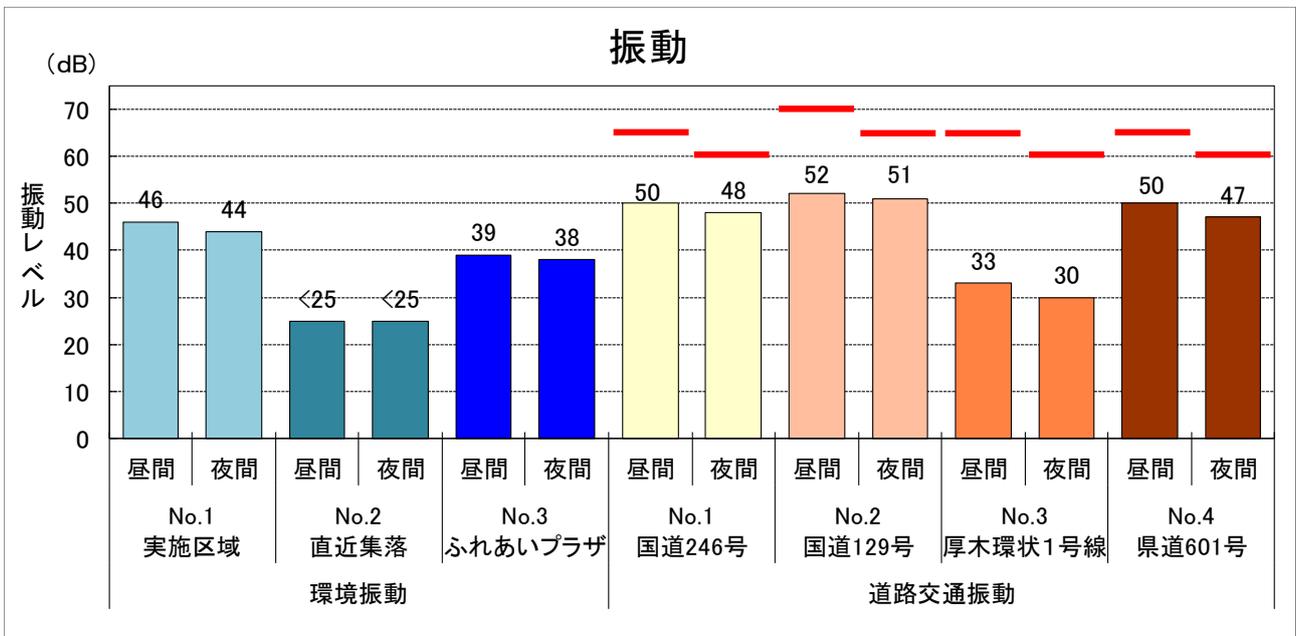
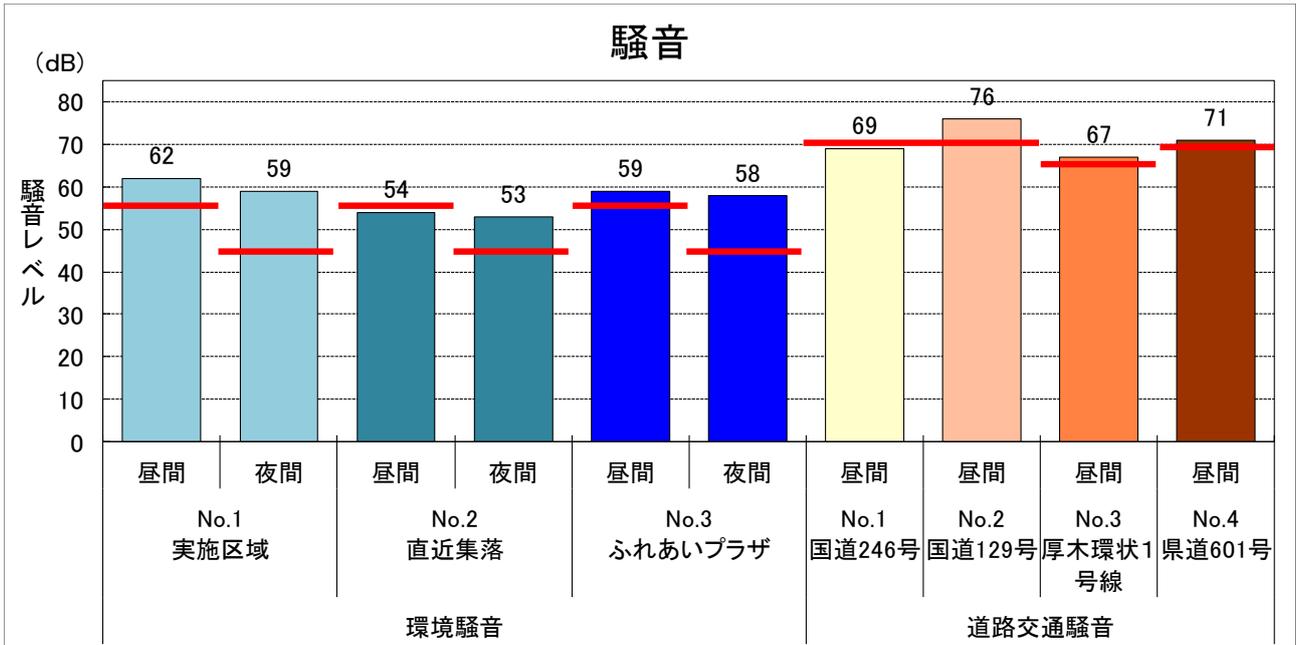
(2) 調査地点



(3) 調査結果

①騒音・振動

- ・環境騒音は隣接する圏央道の影響で、現況において一般地域の環境基準を超過していた。
- ・道路交通騒音はNo. 1 以外は環境基準を超過していた。
- ・環境振動は人が振動を感じ始める値（55dB）以下であった。
- ・道路交通振動は、道路交通振動の要請限度を下回っていた。



②低周波音

- ・G特性音圧レベル(L₆₅)は人が感じ始める値(100dB)を下回っていた。
- ・低周波音圧レベル(1~80Hz、L₅₀)は一般環境中に存在するレベルであった。

低周波音調査結果

時間区分	調査結果 (dB)					
	No. 1 (実施区域)		No. 2 (直近集落)		No. 3 (ふれあいプラザ)	
	L ₆₅	L ₅₀	L ₆₅	L ₅₀	L ₆₅	L ₅₀
昼間 (6~22時)	83	76	75	71	80	74
夜間 (22~6時)	82	75	74	69	80	73

③交通量

- ・24時間交通量は約9,600~62,000台であり、No.1の国道246号が最も多かった。
- ・大型車混入率は11.9~35.2%であり、No.2の国道129号が最も大きかった。
- ・ピーク時間は朝夕の通勤時間帯であり、24時間合計と比べると大型車混入率は小さい値であった。

交通量調査結果

項目			No. 1 国道 246 号	No. 2 国道 129 号	No. 3 厚木環状 1 号線	No. 4 県道 601 号線
24 時間 合 計	交通量 (台)	大型車	15,559	12,500	1,143	4,408
		小型車	46,520	23,000	8,461	11,416
		合 計	62,079	35,500	9,604	15,824
	大型車混入率		25.1%	35.2%	11.9%	27.9%
ピーク 時 間	交通量 (台)	大型車	634	615	31	232
		小型車	3,726	1,779	627	816
		合 計	4,360	2,394	658	1,048
	大型車混入率		14.5%	25.7%	4.7%	22.1%
	ピーク時間		7~8時	7~8時	17~18時	7~8時

注) ピーク時間は合計交通量が最大となる1時間の値を示す。

6. 植物調査

(1) 調査日

早春季：平成 29 年 3 月 29 日～30 日

春季：平成 29 年 5 月 8 日～9 日

夏季：平成 29 年 7 月 24 日～25 日

秋季：平成 29 年 10 月 2 日～3 日

(2) 調査結果(確認種)

現地調査の結果、早春、春、夏、秋季で 381 種の植物の生育を確認した。

表 植物の確認状況(早春, 春, 夏, 秋季)

分類	全体		季節									
			早春季		春季		夏季		秋季			
	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数		
シダ植物	2	3	1	1	2	3	2	2	1	1		
種子植物	裸子植物		2	3	1	2	1	1	1	1		
	双子葉植物	離弁花類	45	166	26	67	33	106	34	92	41	116
		合弁花類	17	98	12	47	16	61	13	57	15	63
単子葉植物		16	111	6	37	8	43	12	58	12	68	
合計	82	381	47	155	60	215	62	210	70	249		

*1. 種名、配列等は、基本的に「植物目録 1987」(昭和 62 年、環境庁)に準拠した。

(3) 調査結果(重要な植物)

重要な植物として、ミゾコウジュ、カワヂシャの生育を確認した。



7. 動物調査

(1) 調査日

早春季	：平成 29 年 3 月 29 日～30 日	両生類、昆虫類
春季	：平成 29 年 5 月 8 日～9 日	哺乳類、鳥類、両生類、昆虫類
初夏	：平成 29 年 6 月 19 日～20 日	鳥類、爬虫類、昆虫類
夏季	：平成 29 年 7 月 24 日～25 日	哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類
秋季	：平成 29 年 10 月 2 日～3 日	哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類
冬季	：平成 29 年 12 月 18 日～19 日	哺乳類、鳥類

(2) 調査結果(確認種)

現地調査の結果、早春、春、初夏、夏、秋、冬季で、哺乳類は 7 種、鳥類 59 種、爬虫類は 5 種、両生類は 3 種、昆虫類は 581 種の生息を確認した。

表 動物の確認状況(早春, 春, 初夏, 夏, 秋, 冬季)

分類	全体		季節											
			早春季		春季		初夏		夏季		秋季		冬季	
	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数
哺乳類	6	7			3	3			3	3	3	3	3	4
鳥類	34	59			31	46	24	32	23	30	21	29	22	34
爬虫類	5	5					2	2	3	3	1	1		
両生類	3	3	2	2	3	3			2	2	2	2		
昆虫類	168	581	44	69	99	241	98	229	100	248	102	212		

(3) 調査結果(重要な種)

重要な種として、哺乳類はイタチの 1 種、鳥類はチュウサギ、コチドリ等の 21 種、爬虫類はヒガシニホントカゲ、ニホンマムシ等の 3 種、両生類はトウキョウダルマガエルの 1 種、昆虫類はクロイトトンボ、ケラ等の 15 種の生息を確認した。





タシギ(秋季)



ツバメ(夏季)



ヒガシニホントカゲ(夏季)



ニホンマムシ(初夏)



トウキョウダルマガエル(春季)



クロイトトンボ(春季)



ハグロトンボ(夏季)



ミヤマアカネ(秋季)

8. 水生生物

(1) 調査日

早春季：平成 29 年 3 月 29 日 底生動物
 春季：平成 29 年 5 月 8 日 魚類
 夏季：平成 29 年 7 月 24 日 底生動物
 秋季：平成 29 年 10 月 3 日 魚類

(2) 調査結果(確認種)

現地調査の結果、早春、春、夏、秋季で、魚類は 13 種、底生動物は 40 種の生息を確認した。

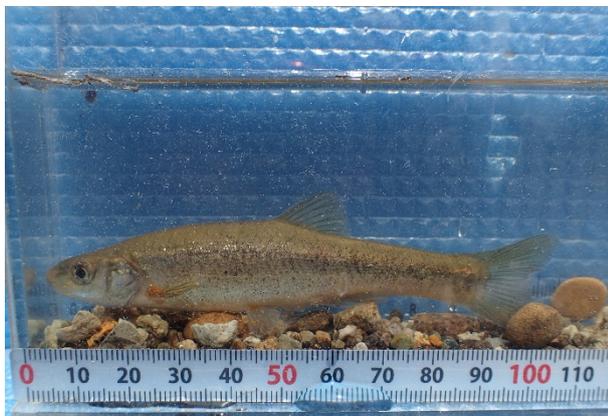
表 動物の確認状況(早春, 春, 夏, 秋季)

分類	全体		季節							
			早春季		春季 *1		夏季		秋季	
	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数
魚類	6	13			5	6			5	11
底生動物	27	40	20	26	(1)	(1)	18	27		

*1. 春季の底生動物は魚類調査時に補足的に確認した種を含む。

(3) 調査結果(重要な種)

重要な種として、魚類はアブラハヤ、ドジョウ等の 6 種、底生動物はハグロトンボ、コガムシ等の 3 種の生息を確認した。



アブラハヤ(春季)



ドジョウ(春季)



ハグロトンボ(早春季)



コガムシ(夏季)

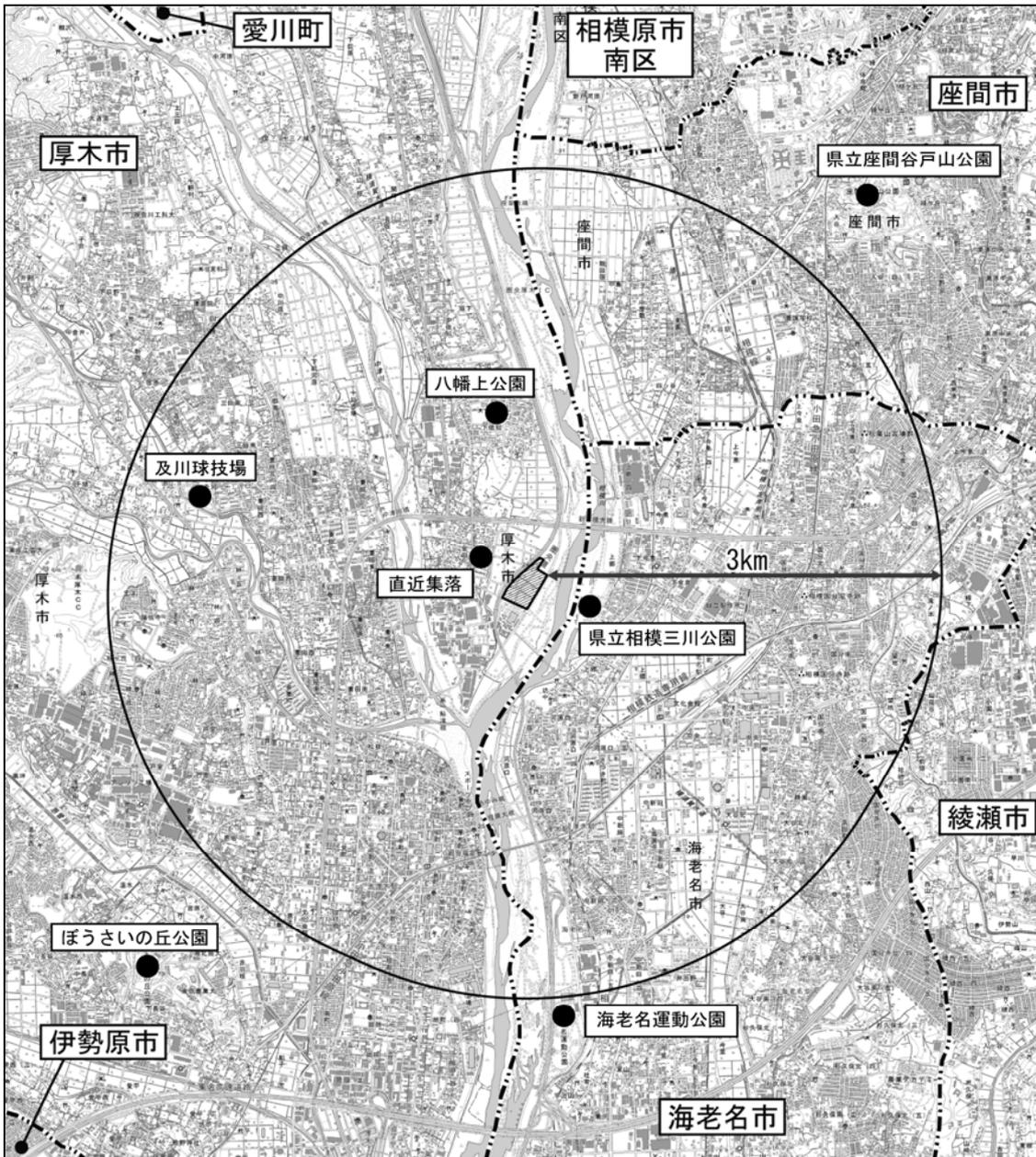
9. 景観

(1) 調査日

着葉期：平成 29 年 7 月 19 日

落葉期：平成 29 年 12 月 18 日

(2) 調査地点



(3) 調査結果

景観調査結果の概要は、下表に示すとおりである。

調査地点の7地点のうち、現環境センターの煙突が確認できた地点は、5地点であった。

実施区域もしくは現施設の煙突が視認できた地点の眺望景観は17～21ページに示すとおりである。

表 景観調査結果の概要

地点名	実施区域からの距離 (m)	区分	眺望景観の状況
県立座間谷戸山公園	3,500	遠景域	県立座間谷戸山公園南側の広場から実施区域方向をみると、近傍の住居等で遮蔽され、実施区域の周辺は視認できない。なお、現厚木市環境センターの建物や煙突も確認できない。 ×
八幡上公園	1,100	中景域	八幡上公園南側の歩道から実施区域方向をみると、樹木や建物等でほとんど遮蔽されるが、煙突を視認できる。 △
及川球技場	2,500	中景域	及川球技場の駐車場から実施区域方向をみると、建物等で遮蔽され、実施区域の周辺は視認できない。なお、現厚木市環境センターの建物や煙突も確認できない。 ×
直近集落	240	近景域	直近集落の北側から実施区域方向をみると、高速道路の高架で一部遮蔽されるが、実施区域の周辺を視認できる。 ○
県立相模三川公園	500	近景域	県立相模三川公の夕焼けの丘から実施区域方向をみると、樹木で一部遮蔽されるが、実施区域の周辺を視認できる。 ○
ぼうさいの丘公園	3,900	遠景域	ぼうさいの丘公園の遊歩道から実施区域方向をみると、建物等でほとんど遮蔽されるが、煙突を視認できる。 △
海老名運動公園	3,000	遠景域	海老名運動公園の駐車場から実施区域方向をみると、高速道路の高架や建物等でほとんど遮蔽されるが、煙突を視認できる。 △

注) 眺望景観の状況の欄の記号は以下のとおり。

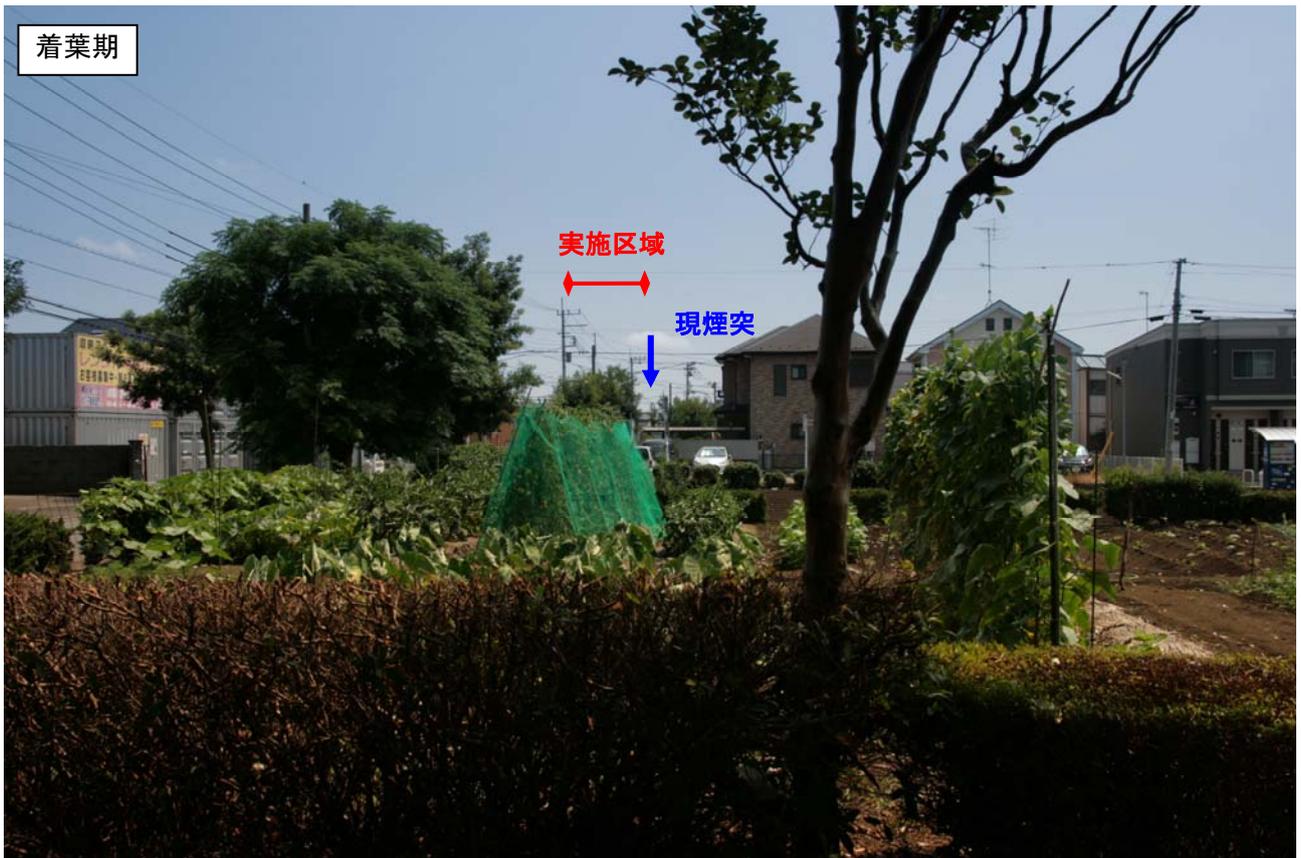
○：実施区域が視認できる。

△：実施区域は視認できないが、煙突は視認できる。

×：実施区域、煙突のいずれも視認できない。

【八幡上公園（眺望景観：実施区域は視認できないが、煙突は視認できる。）】

着葉期



落葉期



【直近集落（眺望景観：実施区域が視認できる。）】

着葉期



落葉期



【県立相模三川公園（眺望景観：実施区域が視認できる。）】

着葉期

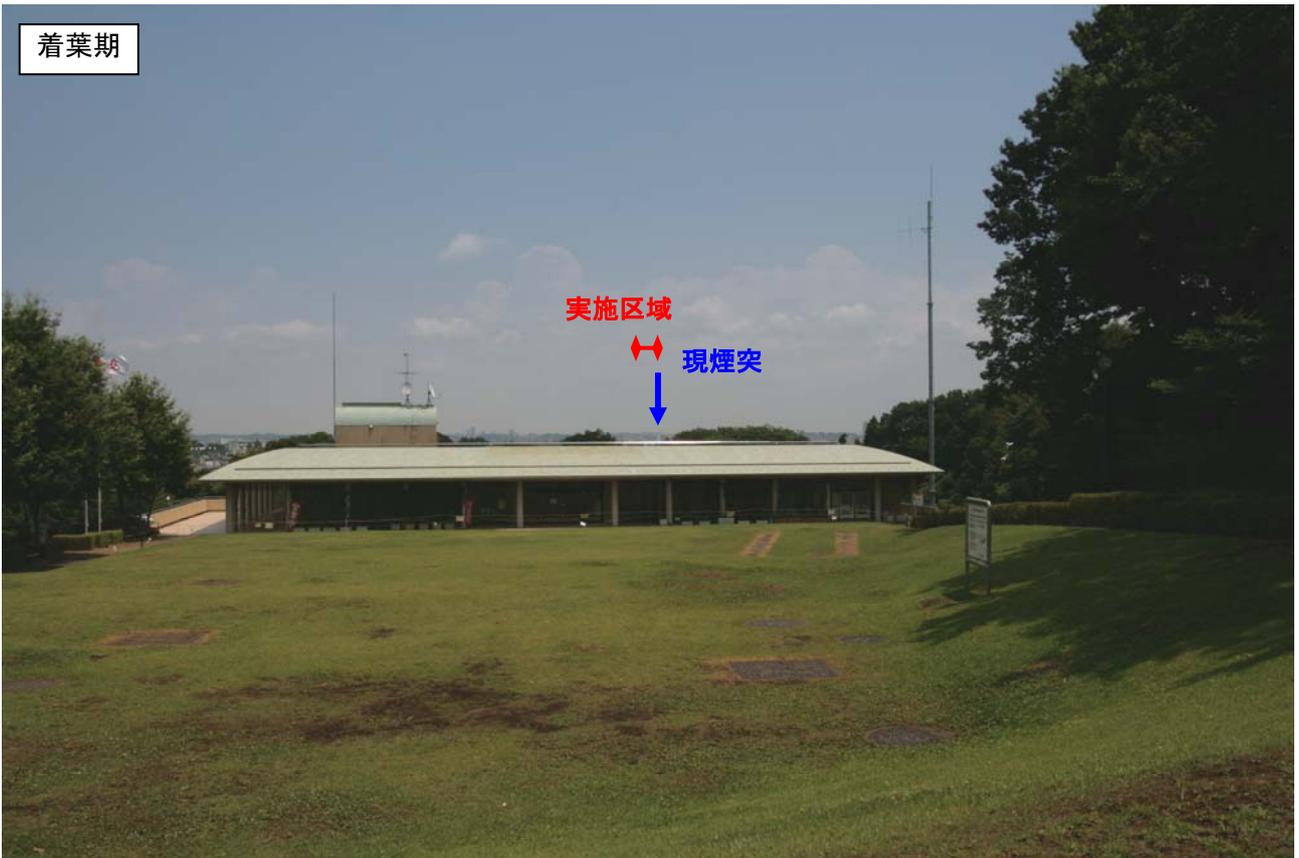


落葉期



【ぼうさいの丘公園（眺望景観：実施区域は視認できないが、煙突は視認できる。）】

着葉期



落葉期



【海老名運動公園（眺望景観：実施区域は視認できないが、煙突は視認できる。）】

着葉期



落葉期



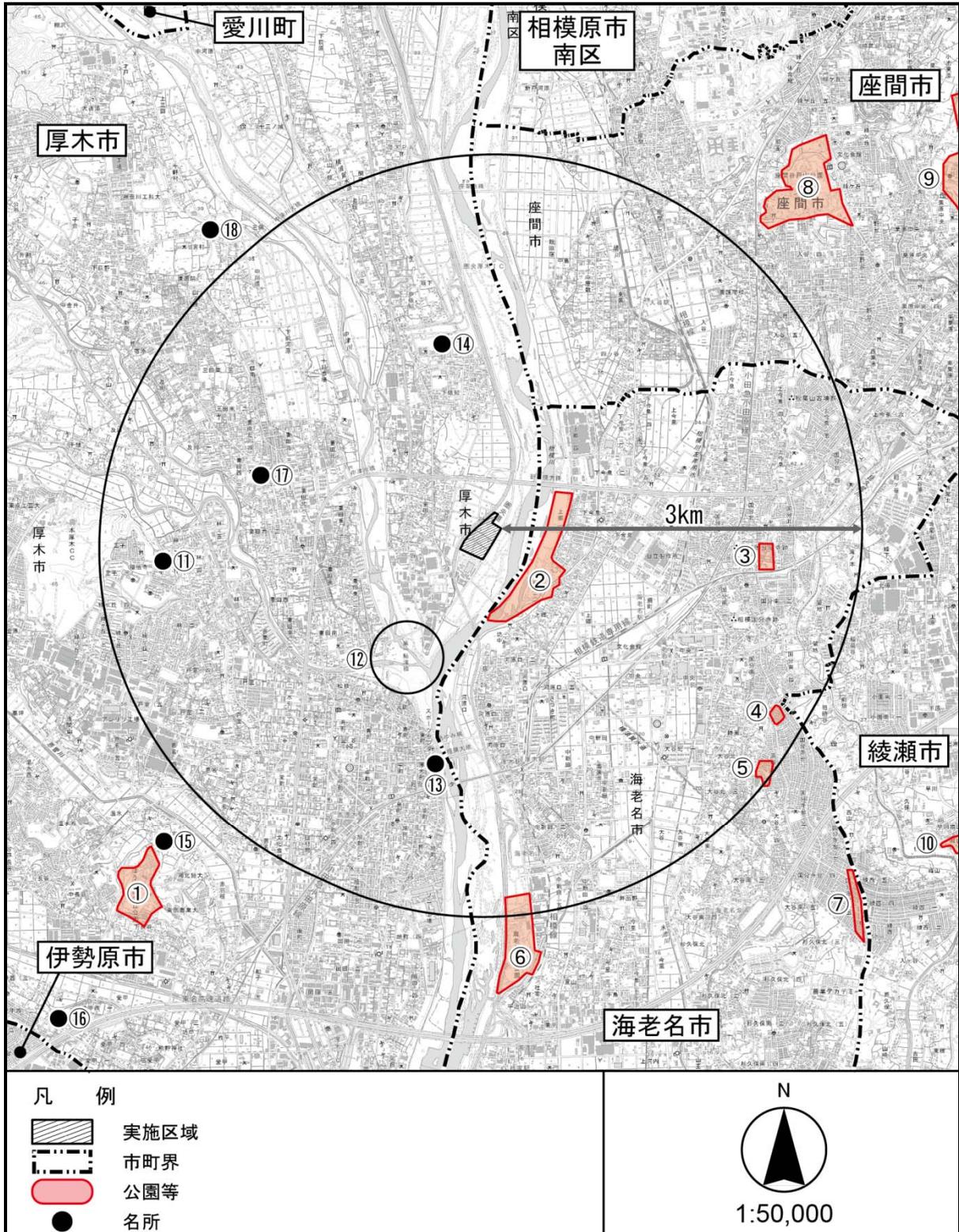
10. レクリエーション資源

(1) 調査日

平日：平成 29 年 10 月 27 日（金）

休日：平成 29 年 11 月 3 日（祝）

(2) 調査地点（実施区域から 3km の範囲）



(3) 調査結果

利用状況 県立相模三川公園

番号	調査地点	調査項目	調査結果の概況
2	県立相模三川公園	利用の状況	平日、休日ともにスポーツ施設、多目的広場、散歩・ウォーキング等の利用がある。休日は、利用人数が多くなり、ボーイスカウトによるイベントや、家族での利用が多くみられている。
		周辺の状況	周辺は、主に住宅地となっており、北側に相模川が隣接している。
現地の状況	平日		
	休日		

利用状況 (清水寺公園)

番号	調査地点	調査項目	調査結果の概況
3	清水寺公園	利用の状況	平日での利用者は少なく、休日は家族で大型遊具等の利用があった。
		周辺の状況	周辺は、神社や住宅地となっている。
現地の状況	平日		
	休日		

利用状況（ひさご塚公園）

番号	調査地点	調査項目	調査結果の概況
4	ひさご塚公園	利用の状況	平日は、利用者がなく、休日はウォーキングの立ち寄り地点としての利用者があった。公園内に遊具等はなく、森林となっており、ウォーキングや眺望点としての利用が代表的である。
		周辺の状況	周辺は、住宅地となっている。
現地の状況	平日		
	休日		

利用状況（浜田歴史公園）

番号	調査地点	調査項目	調査結果の概況
5	浜田歴史公園	利用の状況	平日、休日ともに利用者はいなかった。遊具等はなく、広場がある公園となっており、広場としての利用がある。
		周辺の状況	周辺は、住宅地となっている。
現地の状況	平日		
	休日		

利用状況 (海老名運動公園)

番号	調査地点	調査項目	調査結果の概況
6	海老名運動公園	利用の状況	平日、休日ともに多くの利用がある学生の大会や部活動での使用や市民のスポーツ・レクリエーションの拠点としての利用となっている。
		周辺の状況	周辺は、主に住宅地や工場となっており、西側に相模川が隣接している。
現地の状況	平日		
	休日		

利用状況 (牧歌牧場)

番号	調査地点	調査項目	調査結果の概況
11	牧歌牧場	利用の状況	平日、休日ともに利用者はいなかったが、小鮎川沿いの小道から羊や牛がみられ、散策、散歩の立ち寄り地点としての利用がある。
		周辺の状況	周辺は、田園に囲まれており、北側に小鮎川が流れている。
現地の状況	平日		
	休日		

利用状況 (相模川・中津川・小鮎川)

番号	調査地点	調査項目	調査結果の概況
12	相模川・ 中津川・ 小鮎川	利用の状況	平日、休日ともに、釣り、キャンプ、広場としての利用があり、休日は、利用人数も多くなっていた。
		周辺の状況	周辺は、住宅や工場に囲まれている。
現地の状況	平日		
	休日		

利用状況 (烏山藩厚木役所跡 (厚木))

番号	調査地点	調査項目	調査結果の概況
13	烏山藩厚木 役所跡 (厚木)	利用の状況	平日、休日ともに利用者がいなかったが、市の観光案内に記載されており、観光名所として紹介されており、観光の利用がある。
		周辺の状況	周辺は病院や神社となっており、東側に相模川が隣接している。
現地の状況	平日		
	休日		

利用状況 (浅間神社(中依知)銅鐘)

番号	調査地点	調査項目	調査結果の概況
14	浅間神社 (中依知)銅鐘	利用の状況	平日、休日ともに利用者がいなかったが、市の観光案内に記載されており、観光名所として紹介されており、観光の利用や参拝目的の利用がある。
		周辺の状況	周辺は住宅地となっている。
現地の状況	平日		
	休日		

利用状況 (妻田薬師(妻田西)薬師堂)

番号	調査地点	調査項目	調査結果の概況
17	妻田薬師 (妻田西)薬師堂	利用の状況	平日、休日ともに利用者は少ない。厚木市の観光案内に記載されており、散策や参拝等の利用がある。
		周辺の状況	周辺は、住宅地となっている。
現地の状況	平日		
	休日		

利用状況（八幡上公園）

番号	調査地点	調査項目	調査結果の概況
19	八幡上公園	利用の状況	平日、休日ともに利用が少ないが、多目的広場となっており、広場の利用やトイレもあることから休憩箇所としての利用となっている。
		周辺の状況	周辺は住宅地となっている。
現地の状況	平日		
	休日		

利用状況（及川球技場）

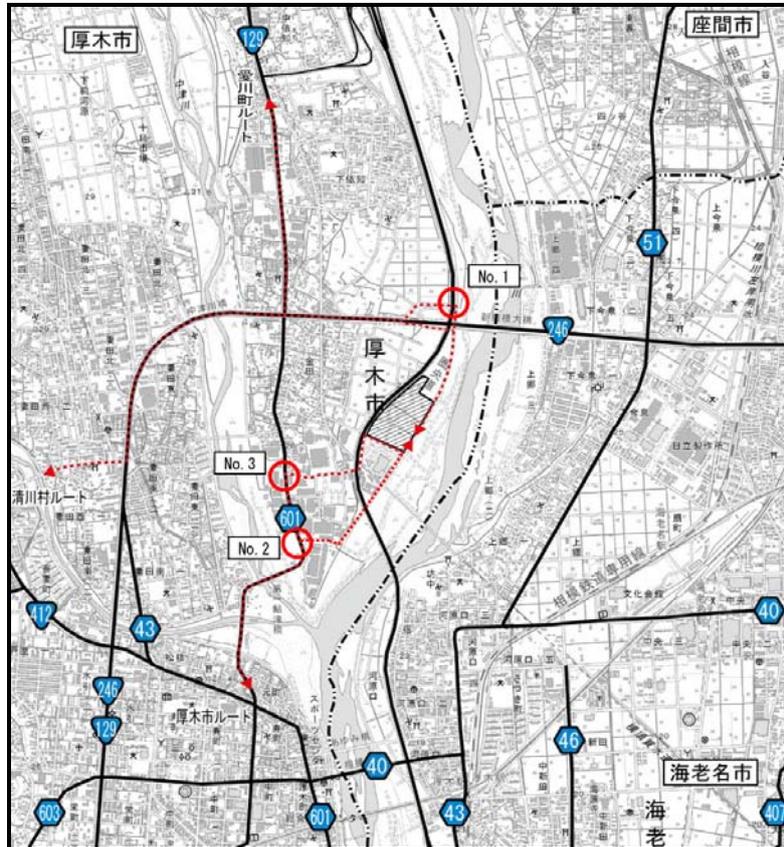
番号	調査地点	調査項目	調査結果の概況
20	及川球技場	利用の状況	平日は、パレットゴルフやウォーキングの利用があり、休日は少年野球やパターゴルフなど多くのスポーツ施設の利用となっていた。
		周辺の状況	周辺は住宅地となっている。
現地の状況	平日		
	休日		

11. 安全（交通）

(1) 調査日

平成 29 年 7 月 24 日（月） 7：00～19：00

(2) 調査地点



(3) 調査結果

交差点合計交通量は、12 時間交通量は 9,364～13,926 台、ピーク時交通量は 901～1,465 台であった。ピーク時間帯は、No. 1、No. 2 は 7～8 時、No. 3 は 15～16 時であった。

表 自動車交通量調査結果総括表

区分		No. 1	No. 2	No. 3
12 時間 交通量 (台/12h)	大型車	4,482	3,215	2,681
	小型車	8,936	10,267	6,481
	廃棄物運搬車	224	444	202
	自動車計	13,642	13,926	9,364
	二輪車	423	556	393
ピーク時 交通量 (台/時)	大型車	362	227	262
	小型車	1,093	1,100	610
	廃棄物運搬車	10	24	29
	自動車計	1,465	1,351	901
	二輪車	80	108	29
ピーク時間帯		7～8 時	7～8 時	15～16 時

注)ピーク時は、自動車計が最大となる時間帯である。